

# やってみよう!! ワークシート



新聞には毎日、たくさんの記事や写真、広告がのっています。世界的な大ニュースから身近な地域の話までさまざまです。神戸新聞社は、その中から知ってもらいたいことや深く考えてほしい記事を取り上げ、ワークシートを作って自宅学習などに活用してもらっています。今回は、昔ながらの「打ち水」を体験し、地球温暖化について学ぶイベントのお話です。

## 「涼しい！」小学生ら、打ち水効果実感

### 尼崎 地球温暖化についても学ぶ



打ち水を体験する子どもたち=立花南生涯学習プラザ

猛暑が続く中、昔ながらの「打ち水」を体験し、地球温暖化について学ぶイベントが、尼崎市栗山町2の立花南生涯学習プラザで開かれた。市内の小学生を中心に約130人が参加。芝生や道路に打ち水をして効果を確かめた。

あまがさき環境オープンカレッジ実行委員会と市が主催し、2年前からは市内6カ所で開催している。子どもたちはミニ縁日を楽しんだ後、地球温暖化に関するクイズに挑戦。スタッフは「尼崎市の気温は130年で約2度上がった」「尼崎市の家庭から1年間に排出されたCO<sub>2</sub>は41万9千ト」などと説明。「冷房は使う時間を1時間短くするより、設定温度を1度上げる方が節電効果が高い」などとアドバイスした。

その後、貯留タンクにたまった消毒済みの雨水200リットルとヨーヨー釣りなどを使った残りの水を使って、打ち水を体験。打ち水をする前後で、芝生上が38・0度から31・2度に、道路は52・0度から37・8度に下がった。

立花西小1年の毛利耀平君(7)と武庫北小1年の正木博康君(6)は、自分の行動目標に「水を出しっぱなしにしない」「エネルギーを使いすぎない」と書いたといい、「(打ち水は)涼しくて気持ちよかった」と笑顔だった。

(広畑千春)

8月1日の朝刊にのった記事

①「打ち水」とはどんな取り組みで、どんな目的で行うのか調べてみましょう

② 尼崎市の「打ち水」のイベントでは、道路上の温度は何度から何度になりましたか

度 → 度

③あなたがしている暑さ・熱中症対策には、どんなものがありますか

答えは28日の「週刊まなびー」にのるよ。



④ 8月1～14日、熱中症で救急搬送された人は兵庫県で何人いますか。

「熱中症」「救急搬送」でキーワード検索し、総務省消防庁の情報を見てみましょう

人

⑤地球温暖化を防ぐにはどうしたらいいか、おうちで話しあってみましょう

もっとワークシートをやってみたいと思った人は、電子版「神戸新聞NEXT」の「神戸新聞NIE」コーナーでワークシートを検索してみてください。たくさんあるので興味のある新聞記事を選んでね。今回のワークシートの答えは、メール(kobe-nie@kobe-np.co.jp)か、はがき(〒650-8571 神戸新聞社「週刊まなびー」ワークシート係)で、名前と学年、または年齢を添えて8月27日必着で送ってね。正解者の中から、抽選で毎月10人に神戸新聞の記念品をプレゼントします。

14日週刊まなびー  
ワークシートの  
解答例

- ①例=風鈴3千個 境内に涼感
- ②SNS(交流サイト)などを通じて若い世代に広がった
- ③④⑤自由記述